

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

YMFG中期経営計画 (2025年度～2029年度)

2025年5月9日

株式会社山口フィナンシャルグループ
(東証プライム市場：8418)

将来あるべき姿（ビジョン）からバックキャストし、新中期経営計画を策定

ビジネスモデルの転換を図るため、
新中期経営計画は5年間で策定

ビジョンの実現に向けた
バックキャスト

パーパス

地域の豊かな
未来を共創する

ビジョン

地域に選ばれ、
地域の信頼に応える、
地域価値向上企業
グループ

New Stage

地域企業とリスクを共有し、
価値を共創する

「地域課題解決の
プラットフォーム」
へ進化

更なる進化

「伴走支援型
ビジネスモデル」
の志向・実践

プロダクト
アウトから
の脱却

中計2022

中計2019

位置
づけ

YMFG中期経営計画
(2025年度～2029年度)

「地域課題解決のプラットフォーム」へ向けて、
「同舟共命型ビジネスモデル」を確立する5年間

成長領域見直し・合理化（選択と集中）を実行し、
資本コストを超えるROEの達成を目指す

最終年度は資本コストを上回るROEの達成を目指す

	2024年度 (実績)	2029年度 (最終年度計画)
当期純利益	353億円	600億円
ROE (純資産ベース)	5.6%	8.0%程度
ROE (株主資本ベース)	5.8%	8.5%程度
RORA※1	0.69%	1.0%以上
OHR※2	56.2%	50%程度

※1 当期純利益ベース

※2 OHR = 経費 / コア業務粗利益 (投信解約益および金利スワップ解約損益除く)

3つのエンジンを連動させ、YMFGの企業価値を向上

基本目標① 同舟共命型ビジネスモデルの確立

⇒ [詳細はP5へ](#)

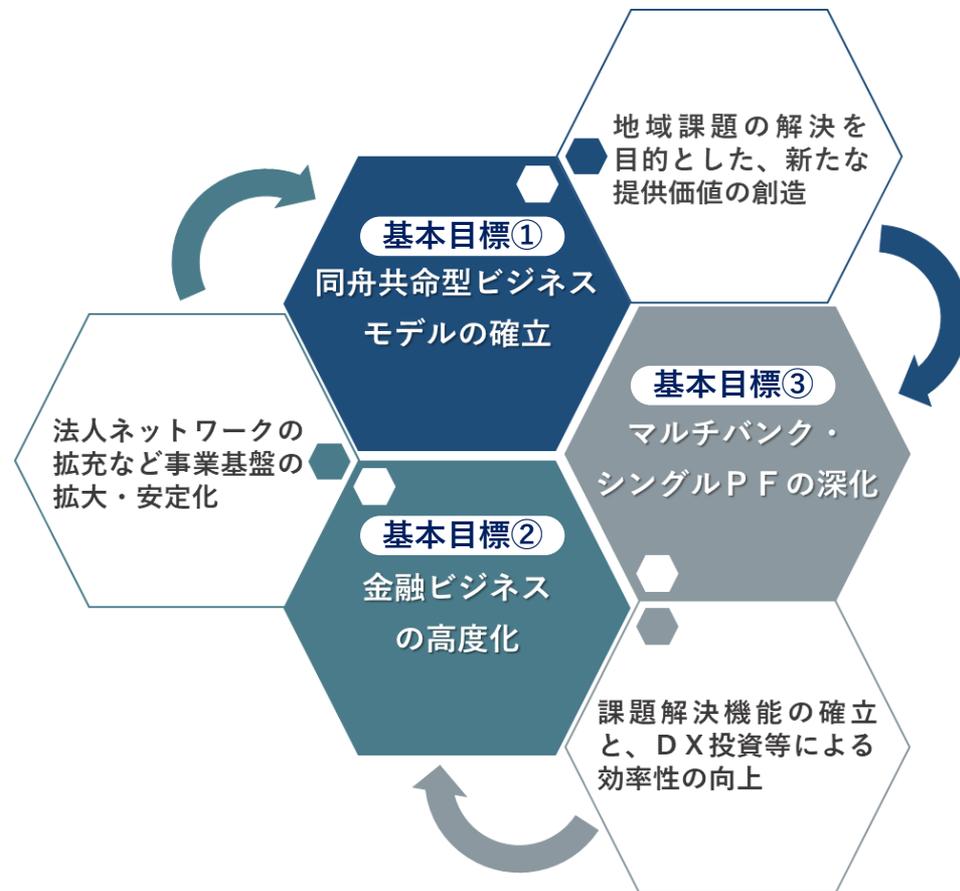
基本目標② 金融ビジネスの高度化

グループ連結収益の大宗を占める事業領域として、質と量の両面から更なる収益基盤強化・経営資源創出を志向

基本目標③ マルチバンク・ シングルプラットフォームの深化

成長の基盤となるグループ経営体制の更なる深化

- DXの加速
⇒ **新たに法人営業担当を300名超増加※**
- デジタル分野や成長戦略等への投資
⇒ **累計400億円超を投資**



Value Up Story

※2025年3月末比

“同舟共命型ビジネスモデル”の確立

地域・お客さまと同じ舟に乗り、共に成長するビジネスモデルを確立する

事業成長支援・資産サポート

《同舟共命型ビジネスモデル》

- ・ 地域企業に対するエクイティ拠出等により、YMGP※1を中心として地域企業が抱える事業リスクを共有する“総合サポート※2”型ビジネスモデル

※1：YMFGグロースパートナーズ

※2：融資（デット）+エクイティ+ソリューション

《YMFGが提供する価値》

【地域企業】

地域企業の経営に深く関与することで、**地域企業の事業成長に貢献**

【地域企業の従業員】

福利厚生をはじめ、**地域企業の人的資本経営をサポート**



成長の好循環

地域共創

[10年後]

経済的インパクト※3累計額

1,000億円

観光

YMFGによる
“まちづくり”

面的再生

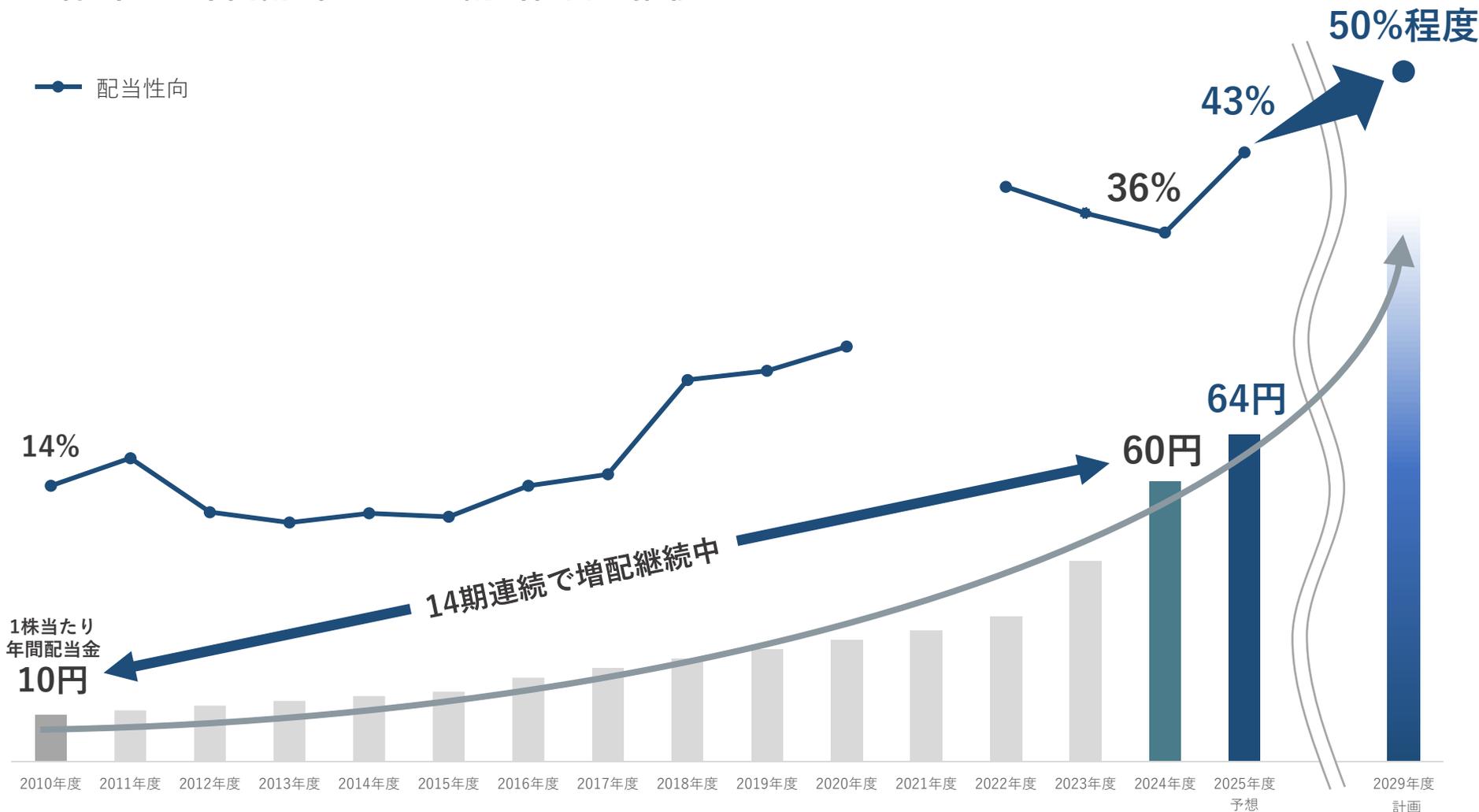
インフラ

※3：「インパクト加重会計」の第一人者である早稲田大学の柳教授やアビームコンサルティングならびに山口大学と連携し、構築したYMFG独自の算出ロジックによる経済的インパクト

“地域課題解決のプラットフォーム”へ

累進配当を基本とし、配当性向は2029年度までに50%程度まで引き上げ
自己株式取得は事業環境、資本の状況等を踏まえ、柔軟かつ機動的に実施

《1株当たり年間配当金および配当性向の推移》



本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく変更されることがあります。本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご注意ください。

【本資料に関するお問い合わせ先】
株式会社 山口フィナンシャルグループ
総合企画部 広報・IR室
TEL 083-223-5511
<https://www.ymfg.co.jp/>

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg